

【※ 9】

道州制

『道州制』とは、現行の『都道府県制』を廃止して、複数の府県を統合した程度の面積規模を持つ広域的自治体（10前後）の自立を目指した統治制度であり、中央から地域へ大幅な予算や権限の委譲を行うことにより、地域の特性に応じた施策を地域独自に行えるようにすることとし、日本の統治機構を『中央集権』から『地域主権』へ変化するための有効な選択肢といわれています。

Q 1. なぜ、道州制が議論されているの？

現在、市町村合併が進み、基礎自治体である市町村の規模・能力が拡大しつつあること、また、環境問題や防犯・防災対策など広域的な行政課題が増大していることから、都道府県のあり方が問われています。

その中で、今後、都道府県が広域自治体としての機能・役割を十分に発揮していくためには、区域の拡大が必要と考えられており、現行の都道府県よりも大きな区域を持つ広域的自治体制度の一つとして『道州制』が議論されています。

Q 2. 道州制の実現により、どのように変わるの？

北海道が目指す道州制は、地方において住民一人ひとりが主役となり、充分に力を発揮していくことができるよう、地方を起点とした仕組みへと『この国のかたち』を創りかえようとするものです。

その際に、最も強く問われるのが、この仕組みを有効に機能させる地方側の『意識』の有り様であり、自分たちに関することは自分たちで決めるという『自立の意識』をしっかり持った個人や自治体が、その仕組みを活用していくならば、地域の持つ特性と潜在力を活かした地域づくりが大きく前進していくことになります。

Q 3. 道州制の導入により、市町村、道州、国の役割は、どのように変わるの？

- 市町村の役割：地域における総合的な行政の主体となって、住民と身近な行政サービスを地域の実情に即して提供。
- 道州の役割：市町村と連携しながら住民の福祉を増進していくこと、さらには、これまで国と道とでそれぞれ行ってきた産業・雇用、社会資本整備などの広域的な行政を一元的に担い、一国にも匹敵する役割を発揮しながら、北海道の持つ新たな可能性を内外に向かって切り開いていく役割。
- 国の役割：外交や安全保障など国家として果たすべきことに集中

【※ 8】

市町村合併

国が市町村合併を推進している理由としては、次のようなことが挙げられています。

《地方分権の推進》

地方分権を円滑に進めるためには、地方自治体に行財政基盤を強化するための努力が求められているため。

《高齢化への対応》

各地域で高齢化が一層進展し、財政的な負担や高齢者を支えるマンパワーの確保が心配されるため。

《多様化する住民ニーズへの対応》

住民の価値観の多様化、技術革新の進展などにもない、住民が求めるサービスも多様化し、高度化している。

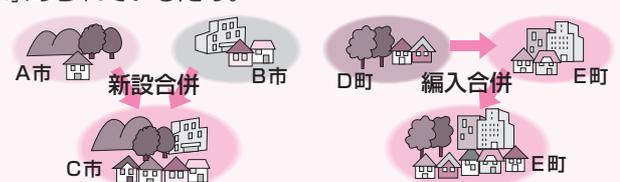
このため、専門的・高度な能力を有する職員の育成・確保が求められているため。

《生活圏の広域化への対応》

交通網の発達などにより日常の生活圏の拡大や、市町村の区域を越えた市街地が形成されるなど、より広い観点から一体的なまちづくりを進めることが求められているため。

《効率性の向上》

危機的な財政状況のなかで、より効率的な行政運営が求められているため。



以上、5期目の市政に臨む所信の一端を申し上げましたが、時

おわりに

いでも市民の利便性を考慮し、市が行う方が良いと思われるものについては積極的に移譲を受けなければ、分権時代にふさわしい基礎自治体としての役割は果たすことができません。と考えます。

今後、道州制の検討に参画しながら北海道と市町村の役割分担を一層明確にし、基礎自治体の地位の確立を目指してまいります。

の大きな転換期にある今、市政を担う責任の重さを痛感しております。

市政の主人公は市民の皆さんであるという認識のもと、私は市長就任以来、一貫して『市民党』の立場で公平・公正な市政の推進に努めてまいりました。

今後、この姿勢を貫き、自己決定・自己責任の原則のもと、市民自治の充実・拡大に努めるとともに、市民と行政が一体となって、真の分権型社会の創造に向けたまちづくりを推進するため、微力ではありますが全力をあげて市政の運営に取り組んでまいります。

議員の皆さん、市民のみなさんのご理解とご協力をお願いします。

